長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2023 JULY VOL.415

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



総合診療科は、伴走する医療で、みんなに笑顔を♥

部長紹介
耳鼻咽喉科医長　吉田 晴郎

明日を担う Vol.18
・最勝寺 佑介（総合診療科医師）

TOPICS
・新任医師紹介

人生100年時代の予防医療
第2回　検診での腫瘍マーカー測定について考えてみます。

ガーデニングだより Vol.7

院内さるく Vol.8 診療情報管理室

今月の一皿

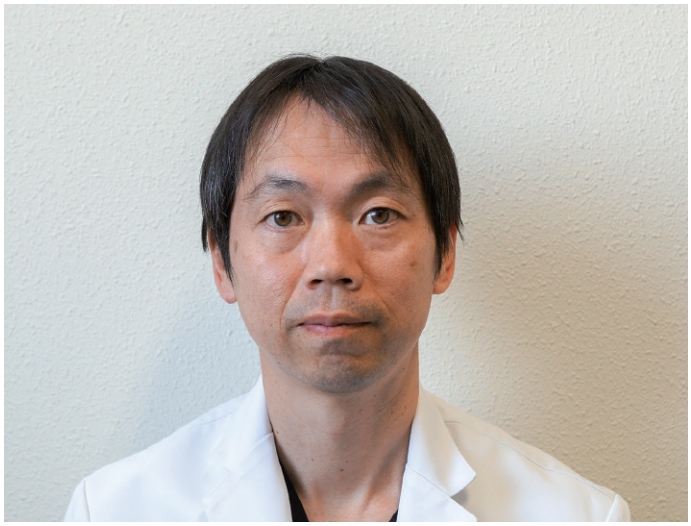
院長コラム　Vol.3

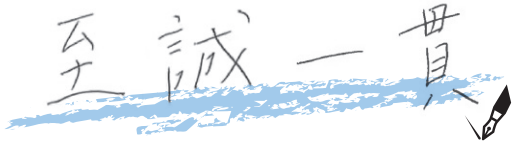
看護部だより Vol.52

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）
大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

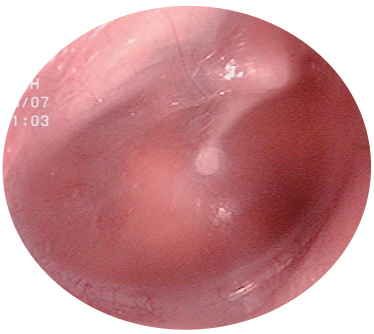
耳鼻咽喉科医長　吉田 晴郎



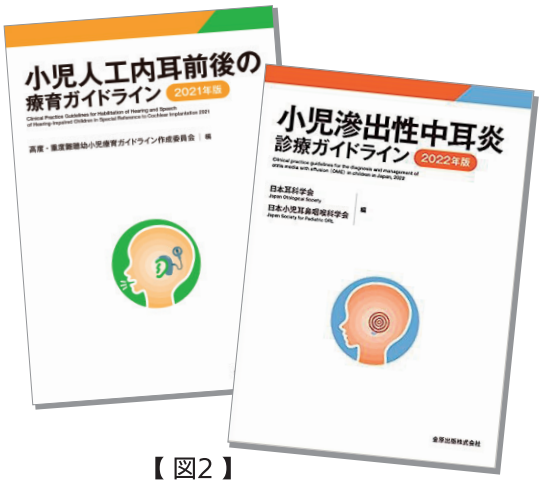


小児の難聴の原因として最も多い「滲出性中耳炎」という病気をご存じでしょうか。この病気では、鼓膜の奥に液体がたまりますが【図1】、難聴以外の症状が無いため気づかれないことも多く（9割の人が1回はかかるといわれますが記憶に無い方も多いはずです）、放置すると難聴による言語や学習への影響、将来より重度の中耳炎へと進展することがあります。小児は自分で難聴を訴えられないため、聞き返しが多い、テレビの音が大きいなどの症状がないか周りの大人が気づいてあげることが重要です。また、最近では生後すぐに聴力検査（新生児聴覚スクリーニング）を行い、難聴の診断が早期に行えるようになってきており、当院も二次聴力検査機関に指定されています。しかし、より高度の難聴がある小児では、難聴を診断し聞こえるようにすれば良いという訳ではなく、言語の獲得や学習への対処などの適切な療育が求められるものの、療育は各県によって異なり標準的な指標はありませんでした。

そこで、前職の長崎大学では、これらに対するガイドラインを作成や【図2】、県内のお子さんに対する事業の立ち上げを行ってきました【図3】。当院でも必要な環境を整えて頂けるようでしたら、引き続き難聴への対処を続けていきたいと考えております。また、耳科手術指導医に加えて鼻科手術指導医の取得も目指しておりますので、耳鼻咽喉科領域の症例がございましたらいつでもご相談下さい。



【図1】



【図2】



【図3】

明日を担う

Vol.18

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。



総合診療科医師

最勝寺（さいしょうじ） 佑介（ゆうすけ）

profile

出身地：鹿児島県

好きな言葉：「一隅を照らす」

Q：医師を目指したきっかけは何ですか？

A：予備校時代に行った故中村哲医師の講演会がきっかけです。診療支援に行った際、干ばつで健康被害が出ている状況を見て「病気を治す前にまず、水が必要だ」と、井戸を掘ることや水路の建設に尽力する姿に究極の医師像を垣間見ました。それからは疾患の診断・治療だけではなく、地域住民の健康問題に幅広く対応できる医師を理想として島医者を目指しました。

Q：専門を“総合診療科”に決めた理由は？

A：疾患だけをみる医師ではなく、予防や生活習慣、社会にまで目を向けることを学問とした家庭医療に興味を持ち、それを専門とすることとしました。

Q：最近取得されたMHA（医療経営修士）とはどのような資格ですか？

A：医療管理や医療経営に特化した修士号です。医療経済学、医療政策と規制、医療品質管理、組織行動学、リーダーシップ開発などを学び、ヘルスケアシステムや医療機関における質、費用対効果、統合などの様々な課題を解決するために必要な分析力、技術、マネジメント力を培います。

Q：MHAの勉強を始めて得られたことはどんなことですか？

A：これまで学ぶことのなかった経済的、政治的観点から医療を俯瞰し、これからの医療に携わる中で自分自身がどのようにエビデンスを提示し、組織を形成して社会に貢献していくかを学ぶことができました。そして、同期には看護師や作業療法士、栄養士、薬剤師、医療事務、医療機器メーカー社員の方もおり、幅広いネットワークを構築することができました。

Q：現在の働き方はいかがですか？

A：臨床や教育だけではなく、研究についても伸び伸びと取り組ませていただいており、とても充実しています。そして何より、家族との時間がしっかりと確保できていることで良好なワークライフバランスが実現できていると思います。

Q：オフの時間の過ごし方は？

A：オフの時間は専ら家族と一緒に過ごしています。娘が大の遊び好きなので公園やショッピングモールに行ったり、家族でドライブをしたりして楽しんでいます。

Q：今後の目標を教えてください。

A：大学院で学んだ知識を活かして疫学的知見から実臨床までの様々なエビデンスを発信し、家庭医としてのアドボカシーを発揮できればと考えています。そして、将来的にはContinuing Care Retirement Community（高齢者が健康な段階で入居し、継続的なケアを受けながら終身で暮らすことができる生活共同体）を構築することを最終的な目標としています。



TOPICS

新任医師紹介



眼科医師
佐藤（さとう）　健人（たけひと）

はじめまして、そしてお久しぶりです。眼科の佐藤と申します。医師になって凡そ16年、今回で医療センターで働くのが4回目となります。単純計算で4年に1度の勤務…自分で言うのもなんですが、オリンピック野郎ですね。4年に1度と言えば、今年はラグビーW杯がありますので、皆さん応援よろしくお願いいたします。勿論、仕事でも今後宜しくお願い致します。



外科医師
釘山（くぎやま）　統太（とうた）

2023年7月から外科に赴任しました釘山統太です。4年3ヶ月ぶり、研修医時代を含めると4度目の勤務です。私が研修医の頃からおられる先生方が相変わらずお元気でバリバリと仕事をされている姿には毎回驚かされます。そんなお世話になった先生方や今回初めてお会いする先生方と働ける事を嬉しく思います。肝胆膵領域を中心に外科疾患全般で病院、地域に貢献できるよう努めてまいります。急患や日々の診療に関して、いつでも気軽に御相談ください。手術中以外はすぐに駆けつけます！どうぞ宜しく御願いいたします。



小児科専攻医
安田（やすだ）　淳（じゅん）

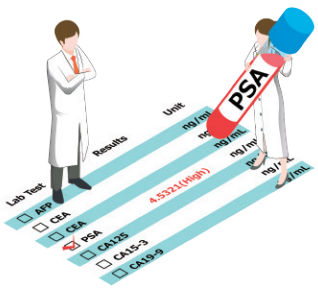
7月より小児科で研修をさせて頂いております。10月からは当院総合診療科に戻り勤務させて頂きます。まだまだ未熟であり、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが何卒よろしくお願い致します。

人生100年時代の

予防医療

～あなたらしく生き抜くために～

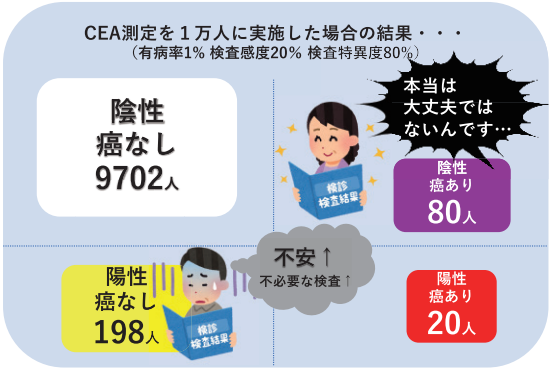
第2回　検診での腫瘍マーカー測定について考えてみます。



検診は無症状の人が受診します。そんな人に腫瘍マーカーを測定しても、早期癌の検出には役に立ちません！何故なら早期癌では、腫瘍マーカーは血中で増加しないからです。

消化器癌等で上昇する腫瘍マーカーのCEA※で考えてみましょう。CEAの各種癌に対する検査感度は20%、特異度は98%です。仮に消化器癌が人口の1%に発症するとします。1万人に測定した場合、CEAが陽性で本当に癌の人は20人、CEA陽性だけど癌でない人は198人、CEA陰性だけど実際に癌の人は80人、残りの9702人はCEA陰性で癌も無いという結果となります。

陽性だけど癌でない人はどうなるでしょうか？陽性というだけで不安に感じるでしょう。そして、不必要な検査が追加されます。陰性だけど実際に癌の人はどうなるでしょうか。安心してそれ以上の検査は受けなくなるかもしれません。前立腺癌の腫瘍マーカーであるPSA※※については賛否両論があるようですが、それ以外の腫瘍マーカーについては検診オプションで追加するメリットがあるのか、よーく考えることをお勧めします。



※ CEA：carcinoembryonic antigen（癌胎児性抗原）　※※ PSA：prostate specific antigen（前立腺特異抗原）

ガーデニング便り

Vol.7



今回紹介するのは、日本で古くから愛されてきたアジサイです。花色があざやかで品種も多く色々な形状の花を楽しむことができます。手はかかりませんが、水切れに注意しましょう。水やりでアジサイの上にできた水滴が日光に反射する様子は“すがすがしい”の一言です。

副院長　黒木 保

院内さるく

Vol.8 診療情報管理室



病院のカルテ管理、DPCに関しての業務と同意書をはじめとした文書の管理を行っています。毎日2000～3000枚の文書が発生し、それに囲まれながら仕事しています。文書は一枚一枚チェックしています。カルテ記載と文書を確認しながら行うこともあるので、細かくとても地道な作業です。正しく記載された診療録や文書はトラブル時にはみんなを守るとても大切な記録となります。時にみなさまとぶつかることもありますが、患者さん、病院のためと思い仕事しています。

今月の一皿

ビール風ゼリー



市販のオレンジゼリーの素を使った簡単レシピです。
ポイントはカルピスにふやかしたゼラチンをいれて攪拌！
オレンジゼリー上にふわっとビールの泡をイメージしてのせてください。

栄養管理室
津田 美怜

作りやすい量

材料（5個分）		使用量
オレンジゼリーの素		60g
水		300g
a	カルピス	50ml
	水	50ml
	ゼラチン	1/2袋

#2023 父の日

院長コラム

国立病院機構長崎医療センター
院長　八橋 弘

Vol.3 「病院にも四季がある」 春と夏編



年間を通して当院の入院患者数や急患患者数を見ていると、病院にも四季があるように思います。一般的に夏と冬と連休/正月には急患患者数は増加し、春と秋には少し落ち着く傾向があります。

6月、病院の敷地内に併設されている活水大学の看護学部から依頼されて、大学1年生を対象に講義をおこないました。長崎医療センターがどのような病院なのか、また看護師の仕事は実際にはどうなのか、スライドと写真を用いて紹介しました。講義後、感想文を寄せていただきました。

長崎医療センターは思っていたよりも凄い病院だったというコメントもありましたが、大学に入学して3か月、勉強が難しく大変なことばかり、自分は本当に看護師になりたいのか、看護師には向いていないのではないか、と不安に思っていたけれど、今日の話で4年後のなりたい自分像を描くことができた、と書かれた文をみつけました。彼らの背中を少し後押しすることができたかな、少し嬉しく思いました。

この4月、新たに就職された職員の中にも、全てが初体験で緊張の連続、失敗して注意されることが多く気持ちが沈む日が多い中、「挨拶だけでも元気良く」と心掛けている人がいると聞きました。また、コロナが沈静化したことで緊張の糸が切れて、心が彷徨っている人もいるように聞いています。病院の毎日は、生と死の狭間の日々でもあります。その第一線で仕事をしている病院職員、彼らを支えまとめてゆかなければならない私も、時に心が揺れることがあります。しかし、この6月は活水の学生さんからのコメントで励まされました。

ふとした事や誰かからの励ましの言葉で、人は立ち直ってゆくのだと思います。「辛いことは続かない」というのが、私の哲学です。人生にも四季があり、病院にも四季がある。院長室から見える景色や病院敷地内の四季の風景の中にも気持ちを切り替える糸口があると思っています。





看護部だより Vol.52

看護の騎士（ナイト）夜間を支えるナースサポーター

ナースサポーター（夜間看護補助者）の紹介をさせて頂きます。

今年3月より夜間の限られた看護人員の中でも、より専門性を発揮できるように療養上の世話に関した専門性を問わない看護の周辺業務を担ってもらうことを目的に導入されました。具体的には、時間外の物品や薬品の搬送業務や介助を要しない患者への配下膳、日ごろ手の届かない部分の環境整備など、今まで看護師が行っていた看護周辺業務をサポートしてもらっています。導入して数か月ではありますが、どの病棟でも看護の質向上を目指し共に協力しながら頑張っています！



配下膳中





薬剤搬送中



水色の制服です!!

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和5年8月1日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★松本　耕輔 ★山﨑　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	八橋　弘 ★小森　敦正 ★山﨑　一美	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	午前	★西山　仁	★後藤　高介 ★三根　祥一郎	★西山　仁		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科		★安井　順一 ★柿田　実紀 明島　淳也	★明島　淳也 安井　順一 柿田　実紀	★安井　順一 明島　淳也	★明島　淳也 安井　順一	
腎臓内科		★岡　哲 山下　由恵		★荒木　慎平 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 荒木　慎平
循環器内科	午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
	午後	★鶴川　晃二郎	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原　敦子 池田　喬哉	★峯　慧輔	近藤　晃 ★池田　喬哉	★瀬戸口　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科		小林　裕児 ★榊　智佳	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	今泉　芳孝 ★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★西村　紗央里
脳神経内科（神経内科）		★岩永　洋	★忽那　史也	★足利　裕哉	★德田　昌紘	★佐藤　和明
膠原病・リウマチ内科		★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科	午前	★末永　英世（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★山田　洸夢（第2・3・4） （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 桑原　義典（第1）（心臓）	★安　忠輝（神経） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石川　太郎（一般） 田中　茂樹（神経） 本村　秀樹（心臓） ★石橋　信弘（心臓・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★山田　洸夢（心臓・一般）	★西口　亮（第1・3・5） （新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★山口　倫人（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経） ★白石　亮（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般）
	午後	★小児外科（第3週） 本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
精神科		★倉田　青弥 蓬莱　彰士	★倉田　青弥 蓬莱　彰士 志方　有莉	★蓬莱　彰士	★蓬莱　彰士 志方　有莉 倉田　青弥	★志方　有莉 倉田　青弥
皮膚科	①外来紹介・新患	石川　博士	里見　直義	石川　博士	里見　直義	深水　文惠
	②旧患	里見　直義	石川　博士	深水　文惠	石川　博士	里見　直義
	③入院中の紹介	深水　文惠	深水　文惠	里見　直義	深水　文惠	石川　博士
外科		★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★杉山　望（乳腺・内分泌外科）	★北里　周（肝・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★杉山　望（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科				★田川　努		
緩和ケア科			濵脇　正好	濵脇　正好	濵脇　正好	
心臓血管外科				★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志 濵脇　正好（再来のみ）
脳神経外科		★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午前　原口　渉 午後　内田　大貴	★小野　智憲 ★吉田　道春
整形外科		★宮本　俊之 山口　圭太	花谷　拓哉（★第1・3・5） （再 第2・4） 大場　陽介（★第2・4） （再 第1・3・5）	★大場　陽介 熊谷　謙治	★花谷　拓哉 向井　順哉	★森　圭介 向井　順哉（第1・3・5） 山口　圭太（第2・4）
リハビリテーション科		森　圭介	大場　陽介	向井　順哉	花谷　拓哉	宮本　俊之
形成外科		★藤岡　正樹 ★古賀　一史	★出光　茉莉江	★福井　季代子	★藤岡　正樹 ★出光または古賀	★福井　季代子 ★出光または古賀
産婦人科		★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子	★福田　雅史 ★レジデント（安日　一郎）
泌尿器科		★大仁田　亨 錦戸　雅春	松屋　福蔵	★錦戸　雅春	★岩田　隆寿	★大仁田　亨 ★柿田　聖大
移植後フォローアップ外来		錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春	岩田　隆寿	大仁田　亨
耳鼻咽喉科		★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★二宮　直樹 ★沖田　奈菜	★森　彩加	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★二宮　直樹	★吉田　晴郎 ★沖田　奈菜	★田中　藤信 ★森　彩加
眼科		★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★時村　源一郎 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★斉藤　淳哉 諸岡　美智子（9：00-14：00）	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★斉藤　淳哉 諸岡　美智子（9：00-14：00）	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★時村　源一郎 ★斉藤　淳哉
放射線科（治療）			★中村　太祐 武田　達哉			★中村　太祐 武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.415